

# 「ラップ口座」の資産残高 過去最高に

## 金融庁の監督指針改正などの規制環境も後押し

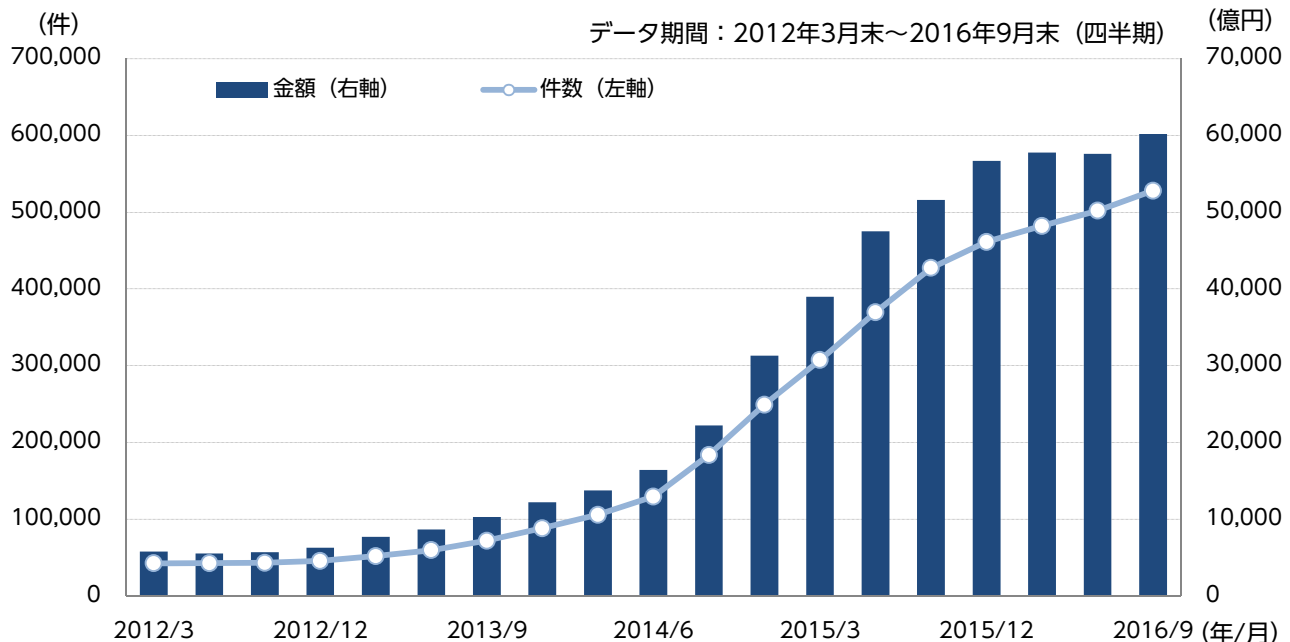
- 「ラップ口座」の資産残高が2四半期ぶりに増加し過去最高。初めて6兆円の大台を突破。
- 契約件数も52万8,046件となり、過去最高を更新。
- 今後のラップ口座市場の継続的な拡大に向け、販売チャネルの拡充や商品の改善などが期待される。

日本投資顧問業協会は2016年12月7日、個人が金融機関に資金を預けて運用を一任する「ラップ口座」の残高が2016年9月末で6兆197億円になったと発表しました。口座の件数は、前期（2016年4-6月期）比2万6,069件増の52万8,046件となり、増加幅は前期の1万9,756件を上回りました。

2016年7-9月期は、株式市場の好転に加え、営業員評価に際して預かり資産の増加等を重視する金融庁の監督指針改正などが後押しし、ラップ口座市場のすその広がったものと考えられます。

ラップ口座とは、投資判断を証券会社や銀行などの管理者に委任する口座の一種です。自分で投資や資産運用は難しいと考える人々を中心に、『100%おまかせ』で運用できるという点が注目されており、近年はラップ口座を個人投資家向けの中核商品と位置づけている金融機関も多数あるようです。大手都市銀行が、2017年2月から『ファンドラップ』に参入することを明らかにすると同時に、運用期間が一定の期間を経過すると手数料を割引する仕組みも導入すると発表しています。今後のラップ市場の継続的な拡大には、手数料体系を含む商品改善が重要なカギとなるかもしれません。

### 「ラップ口座」の資産残高、契約件数がともに過去最高



出所：一般社団法人 日本投資顧問業協会データを基にニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会